



ホッピーだより No. 443

2021 年 10 月 1 日発行

むかわ町穂別博物館

〒054-0211 北海道勇払郡むかわ町穂別 80-6
Tel 0145-45-3141 HP(<http://www.town.mukawa.lg.jp/1908.htm>)
Facebook([@HobetsuMuseum](https://www.facebook.com/HobetsuMuseum))

2020 年度のクリーニング資料 2/2



ついたい サメ椎体 西村普及員（当時）がむかわ町穂別で 2011 年に採集したものです。



クビナガリュウ 首長竜化石

むかわ町穂別産で内田佳祐氏・内田繁比郎氏（岩見沢市）が 2018 年に寄贈されたものです。

首長竜化石

むかわ町穂別産で伊豆倉正隆氏（札幌市）が 2018 年に寄贈されたものです。

2020 年度にクリーニングした主要な化石（骨化石）です。これら以外に、2020 年度に採集したサメの頭骨（？）とみられるもののクリーニングも終了しています。これについては研究の目途がつかまりましたら、発表していきます。

紹介したサメの椎体は阿部学芸補助員が、首長竜化石 2 点は中村学芸補助員がクリーニングをしました。学芸員 西村智弘

カムイサウルスのこれまで⑦



発見された尾椎骨（▽）。
上が2012年に発見されていたもの。下が新たに発見されたもの（2013年9月6日）

2013年9月2日から恐竜発掘を開始しました。最初は穂別博物館学芸スタッフ3名（櫻井学芸員、西村普及員、下山学芸補助員）、北海道大学の小林快次准教授とその学生3名、重機スタッフ1名の8名で作業をはじめました。北大の学生は週ごとにメンバーが入れ替わりながら、発掘を手伝っていただきました。



2012年に発見されていた尾椎骨（▽）周辺の発掘

最初に重機で崖を崩す作業を進める必要がありましたが、天候が悪い日が多く、重機が作業路を上ることができない時間も多かったので、作業があまり進みませんでした。

発掘作業4日目にあたる9月6日に、2012年に発見した尾椎骨を確認し、その周辺を掘り進めたところ、1点の尾椎骨が発見されました。全身骨格が埋没していると想定していましたが、何らかの理由で、残りの部分が発見されない可能性もありました。この発見から、それらの不安は徐々に解消されはじめました。

（文中の肩書・所属は当時）

学芸員 西村智弘

むかわ町穂別博物館

開館時間 9:30 ~ 17:00
（最終入館 16:30）

観覧料	大人	小学生～高校生
個人	300 円	100 円
団体 (10名様以上)	200 円	50 円

小学生未満：無料
むかわ町の小学生～高校生：無料

2021年10月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

休館日 町民無料観覧日

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一度に観覧できる観覧者の上限は40名とし、混雑時には入場制限を行う場合があります。また、告知期間の長さに関わらず臨時休館になる場合もあります。

